

令和 6 年度第 4 回全国健康保険協会大分支部評議会 議事録

開 催 日 : 令和 7 年 1 月 15 日(水) 10:00~12:00

場 所 : コンパルホール大分「304 会議室」

出席評議員 : 石井評議員、金崎評議員、川野評議員、佐藤評議員、原評議員、藤嶋評議員、
渡辺評議員(五十音順)
評議員 9 名中 7 名出席

I 議 題

1. 令和 7 年度都道府県単位保険料率について
2. インセンティブ制度に係る令和 5 年度実績(確定値)について
3. 令和 7 年度 大分支部事業計画(案)及び

支部保険者機能強化予算(案)について【第 2 回】

II 議 事 概 要(主な意見等)

議題 1. 令和 7 年度都道府県単位保険料率について

議題 2. インセンティブ制度に係る令和 5 年度実績(確定値)について

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

(被保険者代表)

国庫補助率を 16.4%から 20%に引き上げるような働きかけを行ってほしい。支部の努力によりインセンティブを獲得できたことを評価したい。

(事業主代表)

年々支部保険料率が上がっている中で、7 年度は据え置きとなったことは評価したい。

(事業主代表)

7 年度収支見込みでは準備金がさらに積み上がるため、準備金の在り方を整理することが必要と考える。

(事務局)

大分支部は平均保険料率 10%を超える支部保険料率が続いている。支部保険料率を下げるため、支部の医療費分析を踏まえた健康づくりや重症化予防事業を進めたいと考えている。

機密性 2

(事業主代表)

平均保険料率について議論する際の収支見通しについて、半年ごとに作成するなどブラッシュアップしていくことが必要である。

(学識経験者)

保険料率に支部間格差がかなり生じているため、全国一律の保険料率に戻すことも検討すべきであるとする。5年度実績よりインセンティブの獲得をしたが、評価指標に伸び率も加味される項目があるため、翌年度の結果がどうなるか心配である。

(事務局)

引き続き、各指標について実績及び伸び率が上がるように努力をしたい。

(学識経験者)

短時間労働者等への適用拡大など協会けんぽに一定の負担増が伴う制度改正が行われる際には、国庫補助率を20%に引き上げるなど、国が財政支援を行うように働きかけをしてほしい。

準備金の活用等により保険料率へのインセンティブの付与を強化することで、保険料率の支部間格差の是正につながるようにすべきである。

(事務局)

社会保障審議会の医療保険部会において協会の財政への影響を配慮するように国に対して意見を申している。準備金の活用等については本部に意見をあげていきたい。

(学識経験者)

日本の医療保険は国民一体型の制度となっており、保険料率に地域間格差があることには疑問を感じる。また、この地域間格差の是正を進めるために、インセンティブの強化などに準備金を活用することについては妥当でありコンセンサスも得られるのではないかと。

日本においては社会保険料の負担は増えているが、世界のトレンドとしては社会保険料の負担を減らす方向に動いている。少子高齢化に伴い、医療費の増加に備えることは重要であるが、保険料率10%で保険財政を運営していけるような医療保険制度の構築に向けての働きかけ等が重要である。

(事務局)

協会けんぽ発足以降、支部間格差の是正は必ずしも進んでいるとは言えない。保険者努力重点支援プロジェクトとして、保険料率の高い支部における医療費分析や事業企画を行っており、効果的な手法等が確立されると、全支部に横展開されることとなっている。

国民皆保険を維持するためにも、我々は保険者として地域医療調整会議等各種会議で、意

見を発信したい。

議題 3. 令和 7 年度 大支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

【第 2 回】

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

（被保険者代表）

ジェネリック医薬品の使用を推進するうえで、ジェネリック医薬品希望シールの配布については速効性が感じられない。他支部の好事例を参考にしてほしい。

（被保険者代表）

学齢期における健康教育の重要性と比較して推進にかかる予算が少ないと思う。

（事業主代表）

健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合における KPI の設定条件と、取組方法について伺いたい。

（事務局）

対前年度以上になるように、今年度の上昇幅である 1.5%を加味した設定としている。被保険者数の多い事業所だけではなく、小規模の事業所にも勧奨を行っていく予定である。

（事業主代表）

電子申請の導入に関しては利便性の向上のために早急に実施してほしい。学齢期における健康教育の推進については、将来の医療費を抑制するような事業であるため、予算を増やしてもいいと思う。また、子供たちから親に向けて健康に関するメッセージを伝える仕組みがあれば有効だと思う。

（事務局）

学齢期における健康教育の推進にかかる予算の増額については、今回評議会の意見を踏まえ検討する。

（学識経験者）

大支部のサービススタンダードにおける令和 5 年度実績が 5.75 日なのに対して、サービススタンダードの平均所要日数を 7 日以内とする KPI に設定した理由を伺いたい。

機密性 2

(事務局)

大分支部の実績では 5.75 日であるが、全国ベースでは 7 日以内が達成可能な目標数値としているため、全国ベースを基準に設定している。過去には新型コロナウイルスの蔓延により、申請件数が急増してサービススタンダードがひっ迫した状況も発生した。

(学識経験者)

重症化予防として、未治療者への受診勧奨も重要だが、事業主への働きかけも重要である。

(学識経験者)

コラボヘルス事業にかかる予算を増やすことはいいことだと思う。増やしている分の効果検証を行うようにしてほしい。

以 上